

No.	報告受領日	一般名	患者性別	年代	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査 (年月)	投与後検査 (年月)	企業投与前 検査	企業投与後 検査	受血者個別 NAT	献血者個別NAT	備考
52	2007/9/3	人赤血球濃厚液-LR 人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女	60	循環器疾患	C型肝炎	07/03 07/03	HCV-Ab(-) (08/10)	HCV-Ab(+) (07/07) HCV-RNA(+) (07/07) HCV群別:グ ループ1 (07/08)	-	-	陽性(輸血 後)	保管検体2本全 部HCV-RNA(-)	
53	2007/9/11	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	男	60	消化器疾患	C型肝炎	07/05-06	HCV-Ab(-) (08/07) HCV-Ab(-) (07/05)	HCV-Ab(-) (07/06) HCV-Ab(+) (07/08) HCV-Ab(+) (07/08)	-	HCV-RNA(-) (07/08) HCV-Ab:EIA法 (+), PHA法 (-) (07/08)	陰性(輸血 後)	保管検体3本全 部HCV-RNA(-)	
54	2007/9/13	人血小板濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR 新鮮凍結人血漿	女	80	血液腫瘍	C型肝炎	07/05-06 07/05-06 07/05-06	HCVコア抗原 (-) (07/06) HCV-Ab(-) (07/05)	HCV-RNA(-) (07/06) HCV-RNA(+) (07/06) HCVコア抗原 (+) (07/08)	-	-	陽性(輸血 後)	保管検体29本 全部HCV- RNA(-)	
55	2007/9/18	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女	50	消化器腫瘍	細菌感染	07/09	-	体温:約37度 →約40度 血液培養より Klebsiella pneumoniae(グ ラム陰性菌) 検出 (07/09) Klebsiella pneumoniae, Pseudomonas fluorescens, Pseudomonas putidaを同定	非溶血性副作用関連検査:調査 なし。 投与中止の当該製剤で細菌培 養試験の結果、陰性。				※調査結果を受けて担当医より「副 作用・感染症と輸血血液との因果關 係なしと考える。血液培養(2セット) の結果で同一菌がK. pneumoniaeの ため、起炎菌はKlebsiella pneumoniaeと考えられる。感染源は 原病(骨髄内腫瘍)であった」という見 解が得られた。
56	2007/9/20	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR 人血小板濃厚液(放射線照射)	男	70	呼吸器腫瘍等	細菌感染	07/08 07/08	-	発熱(39度~ 40度) 血液培養にて グラム陰性桿 菌を検出。 (Escherichia coliを同定。)	非溶血性副作用関連検査実 施。抗血漿タンパク質抗体検査: 陰性。血漿タンパク質免疫検査: 欠損なし。				
57	2007/9/20	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	70	消化器疾患	B型肝炎	05/03	HBsAg(-) (05/03)	HBsAg(+) (07/08) HBsAb(-) (07/08) HBeAb(+) (07/08)	-	HBV-DNA(-) HBsAg(+w) HBsAb(-) HBeAb(+) (07/08)	陰性(輸血 後)	保管検体2本全 部HBV-DNA(-)	
58	2007/10/1	人赤血球濃厚液 人赤血球濃厚液-LR	男	80	血液疾患	C型肝炎	07/01 07/02-05	HCV-Ab(-) (06/10) HCVコア抗原 (-) (07/01)	HCV-Ab(+) (07/08) HCV-RNA(+) (07/08)	-	HCV-RNA(+) (07/02) HCV-RNA(+) (07/08) HCV-Ab(+) (07/08)	陽性(輸血 後)	保管検体9本に ついて全部 HCV-RNA(-)	